

# 環境経営レポート

因幡鍍金工業株式会社

2023 年度

(対象期間 2023 年9月1日～ 2024 年8月31日)



登録証番号: JQA-QMA12247  
登録日: 2005年7月1日



発行日: 2024年12月12日

 因幡鍍金工業株式会社  
INABA PLATING INDUSTRIAL CO.,LTD.

## 目 次

| 項 目                                | ページ   |
|------------------------------------|-------|
| ごあいさつ                              | 2     |
| 環境経営方針                             | 2     |
| 組織の概要                              | 3     |
| 認証・登録の対象組織・活動と事業の紹介                | 3     |
| 生産・技術紹介                            | 4     |
| 環境経営組織及び役割・責任・権限                   | 5     |
| 主な環境負荷の実績                          | 6     |
| カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み             | 6     |
| 環境経営目標及びその実績                       | 6     |
| 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画            | 7・8・9 |
| 取組紹介                               | 10    |
| 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無 | 11    |
| 緊急事態対応訓練                           | 11    |
| 代表者による全体の評価と見直し・指示                 | 11    |
| これまでの環境活動の紹介                       | 12    |

お客様の今日を、明日を、未来を変えていくソリューション。

高度化するものづくりを支える めっき技術

他社では叶わなかったこと、お聞かせください。

お客様のニーズにお応えし、製品開発のお手伝いをさせていただきます。

私たちの技術が、新しい製品が、叶えます。



## 私たちは、新しい技術探求心と高品質のものづくりで お客様の次世代製品開発に貢献します。

因幡鍍金工業株式会社は、1966年に製造業メーカーとして、大阪市城東区にて創業いたしました。  
まもなく創業60年を迎える当社ですが、その仕事は、常に人と人をつなぎ、新たなものづくりとしての鍍金、  
表面処理業で価値を生み出すことでした。

1966年の創業以来、常に電気亜鉛鍍金での品質向上を追求し、時代とともに変化する社会的課題に対応しながら、  
事業を通じて社会に貢献すべく歩んできました。私たちが目指す品質向上とは、高い耐食性を持つ鍍金生産技術と  
効率化システムで、皆様のお役に立つことを願い、取り組んでおります。

また弊社は、昭和、平成、令和と半世紀以上の経験と対応力を備え、ものづくりを支えるための技術を持っています。

新たなチャレンジとして新技術の開発、機械設備の合理化、省力化、生産体制の充実、公害防止対策に取り組み、  
将来存在価値のある企業として生き残るための方向性を模索しています。

私たちは今、新たに生産ラインも新設し、無限の可能性を秘めた表面処理技術の領域を広げ、社会貢献を目指して  
新たな一歩を踏み出していきたいと思っております。

これからも社員一丸となって、創業の精神を忘れることなく努力を重ねて参りますので、  
今後とも一層のご支援ご愛顧の程、宜しくお願い致します。

代表取締役 森 かおり

## 環境経営方針

因幡鍍金工業株式会社は、「環境保全」が経営における重要課題との認識のもと、環境負  
荷低減に向けて全社員で取り組んでいきます。

従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

### 環境保全への行動指針

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 電力及び燃料使用による二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄排出量の削減及び再資源化の推進に努めます。
4. 水道水使用量の削減に努めます。
5. 化学物質の適正管理に努めます。
6. 事業活動全般にわたり環境に配慮を推進します。
7. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。
8. この環境方針は、全従業員に周知・徹底します。



制定日：2017年8月31日

代表取締役社長 森 かおり

## 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
因幡鍍金工業株式会社  
代表取締役 森 かおり
- (2) 所在地  
本社・工場 〒544-0012 大阪市生野区巽西4丁目9番7号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 代表取締役 森 かおり TEL : 06-6751-1133  
担当者 総務部 竹島 成美 TEL : 06-6751-1133
- (4) 事業内容  
電気鍍金加工
- (5) 事業の規模  
売上高 348,093 千円
- |                      | 事務所                | 工場                   | 倉庫                 | 合計                   |
|----------------------|--------------------|----------------------|--------------------|----------------------|
| 従業員 名                | 4 名                | 14 名                 | 0 名                | 18 名                 |
| 延べ床面積 m <sup>2</sup> | 168 m <sup>2</sup> | 2,320 m <sup>2</sup> | 238 m <sup>2</sup> | 2,726 m <sup>2</sup> |
- (6) 事業年度 9 月 1 日 ~ 8 月 31 日

### □認証・登録の対象組織・活動

登録組織名 : 因幡鍍金工業株式会社  
対象事業所 : 本社・工場  
活動 : 電気鍍金加工

### □事業の紹介



ねじやボルトの亜鉛めっき加工を行う設備

#### 主な事業内容

自動車・家電部品用のねじ、  
ボルトへの亜鉛めっき加工

#### 主な取引先(納入先)

自動車部品メーカー、建築金物  
メーカー、家電部品メーカー

#### 主な製品

自動車部品  
(ボルト、ナット、プラグなど)



因幡鍍金工業株式会社  
INABA PLATING INDUSTRIAL CO.,LTD.

弊社ホームページはこちら

<https://inaba-mekki.co.jp/index.htm>



## □生産・技術紹介

### めっき工程

めっきを行う製品は多種多様で、適切な前処理を行い素地表面の汚れを除去、地肌を露出させたうえでめっきを施します。熟練された技術とノウハウでお客様から預かった製品は100%良品を目標に納品させていただきます。



### 後処理

めっき工程後、ベーキング処理による水素脆性除去、六価クロムを含有しない三価クロム化成処理、(三価クロメート・三価ユニクロ・三価黒色クロメート)RoHs指令等の環境規制にも対応しております。



### 脱水乾燥

めっき処理の後には必ず乾燥があります。  
当社では製品にマッチした乾燥方法を選択しています。  
製品形状、特性に合わせた乾燥方法の選択が可能です。  
工程に合わせものづくりをするのではなく、ものに合わせ工程を作っていく。  
乾燥機にもそんなこだわりを持って生産をしています。



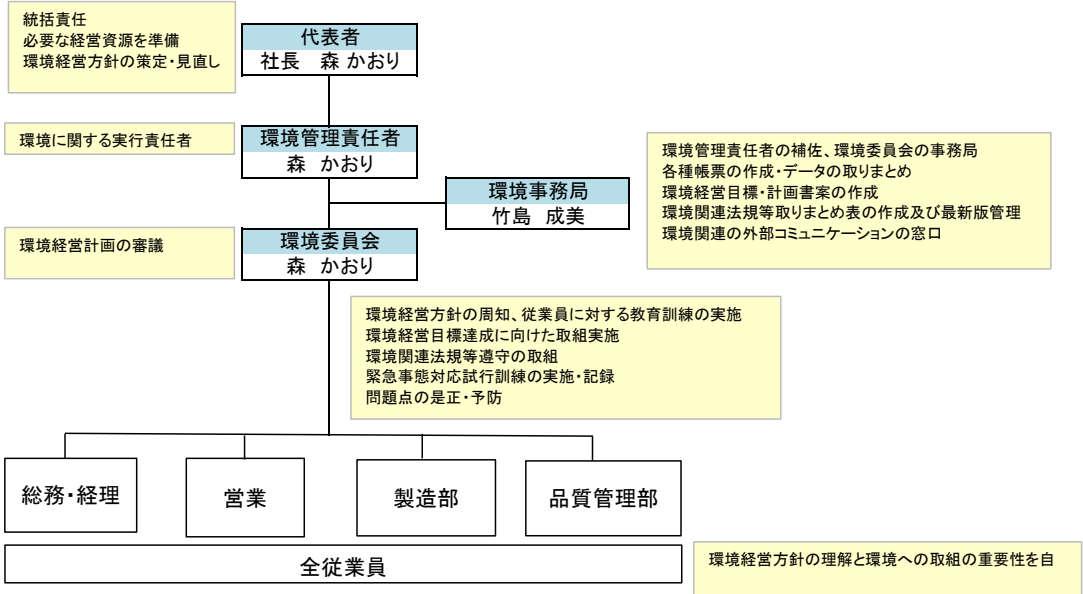
### 外観検査

安定した品質の製品をお客様にお届けするために、出荷する前「外観検査」を行っています。  
めっき工法と同様に工程検査にも長年の実績で培ってきたノウハウや管理ポイントがあると自負しています。  
“品質”を確認するためにはもっとも重要な工程作業になります。



# 環境経営組織及び役割・責任・権限

更新日：2024年8月5日



## 主な環境負荷の実績

| 項 目                | 単位                 | 2021年   | 2022年   | 2023年   |
|--------------------|--------------------|---------|---------|---------|
| 二酸化炭素総排出量          | kg-CO <sub>2</sub> | 598,301 | 522,738 | 468,046 |
| 廃棄物排出量             |                    |         |         |         |
| 一般廃棄物排出量           | k g                | 8,400   | 8,400   | 8,160   |
| 産業廃棄物排出量           | k g                | 244,950 | 208,600 | 227,663 |
| 水使用量               | m <sup>3</sup>     | 22,068  | 20,175  | 23,642  |
| ※電力の二酸化炭素排出係数（調整後） |                    | 0.496   | 0.485   | 0.446   |
| 関西電力2016値          |                    | 日本テクノ   | 日本テクノ   |         |

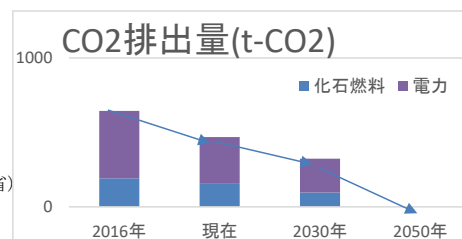
kg-CO<sub>2</sub>/kWh

## カーボンニュートラルに向けたわが社の取り組み

単位：t-CO<sub>2</sub>

|       | 化石燃 | 電力  | 対 策                   |
|-------|-----|-----|-----------------------|
| 2016年 | 191 | 454 |                       |
| 現在    | 159 | 309 | 省エネ SHIFT事業への取り組み     |
| 2030年 | 96  | 227 | 省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力 |
| 2050年 | 0   | 0   | 省エネ+太陽光発電+電気自動車+再エネ電力 |

SHIFT事業：工場・事業場における先導的な脱炭素化取組推進事業（環境省）



## 環境経営目標及びその実績

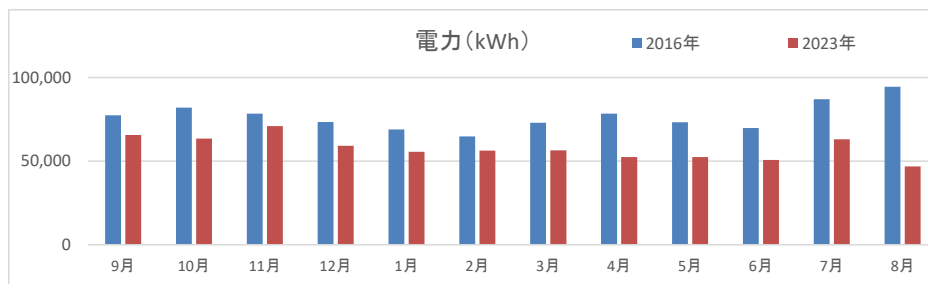
| 年 度              |                    | 2016年              | 2023年   |         | 評 価     | 2024年   | 2025年   |
|------------------|--------------------|--------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 項 目              |                    | (基準値)              | (目標)    | (実績)    |         | (目標)    | (目標)    |
| 電力による二酸化炭素       | kWh                | 921,105            | 801,361 | 693,282 | ○       | 792,150 | 782,939 |
|                  | 基準年度比              |                    | 87%     | 75%     |         | 86%     | 85%     |
| 売上高原単位           | kWh/千円             | 2,546              | 2,215   | 1,992   | ○       | 2,190   | 2,164   |
|                  | 基準年度比              |                    |         |         |         |         |         |
| 売上高原単位           | kg-CO <sub>2</sub> | 454,105            | 395,071 | 309,204 | ○       | 390,530 | 385,989 |
|                  | 基準年度比              |                    | 87%     | 68%     |         | 86%     | 85%     |
| 都市ガスによる二酸化炭素削減   | kg-CO <sub>2</sub> | 163,423            | 156,887 | 140,348 | ○       | 155,252 | 153,618 |
|                  | 基準年度比              |                    | 96%     | 86%     |         | 95%     | 94%     |
| 自動車燃料による二酸化炭素削減  | kg-CO <sub>2</sub> | 28,246             | 27,399  | 17,956  | ○       | 27,117  | 26,834  |
|                  | 基準年度比              |                    | 97%     | 64%     |         | 96%     | 95%     |
| 灯油の削減            | kg-CO <sub>2</sub> | 548                | 542     | 538     | ○       | 537     | 531     |
|                  | 基準年度比              |                    | 99%     | 98%     |         | 98%     | 97%     |
| 上記二酸化炭素排出量合計     |                    | kg-CO <sub>2</sub> | 645,775 | 579,357 | 468,046 | 572,899 | 566,441 |
| 一般廃棄物の削減         | kg                 | 8,640              | 8,467   | 8,160   | ○       | 8,467   | 8,381   |
|                  | 基準年度比              |                    | 98%     | 94%     |         | 98%     | 97%     |
| 産業廃棄物の削減         | kg                 | 282,000            | 253,800 | 227,663 | ○       | 253,800 | 250,980 |
|                  | 基準年度比              |                    | 90%     | 81%     |         | 90%     | 89%     |
| 水道水の削減           | m <sup>3</sup>     | 22,313             | 20,528  | 23,642  | ×       | 20,082  | 20,082  |
|                  | 基準年度比              |                    | 92%     | 106%    |         | 90%     | 90%     |
| 洗浄剤使用量削減         |                    | 行動目標（次項による）        |         |         |         |         |         |
| 環境に配慮した生産活動      |                    | 行動目標（次項による）        |         |         |         |         |         |
| 課題を解決しチャンスを活かす取組 |                    | 行動目標（次項による）        |         |         |         |         |         |

## 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標:○達成 ×未達成

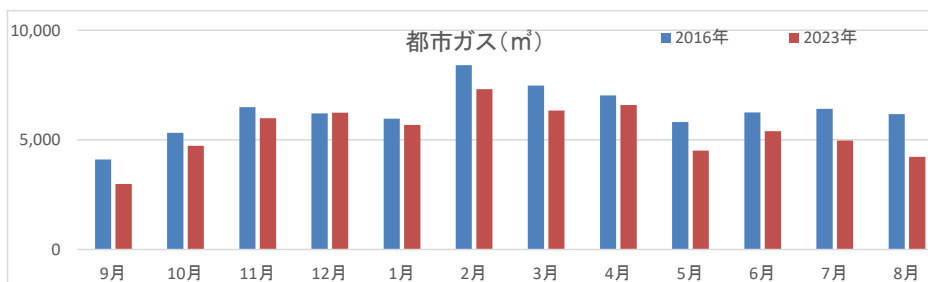
活動:○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

| 電力による二酸化炭素削減           | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画                                                                                                                                                                                                                                              |
|------------------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数値目標                   | ○    | 年間を通して本年も、引き続き、多忙な年であったが、電力使用量は社員の電力使用のコマメな努力で目標を達成することができた。<br>・当面は現状の目標を維持する。<br>・事務室、工場などの照明は、昼休み、残業時など、不必要な時は徹底して消灯している。<br>・空調の温度設定については、室内温度も確認しながら、“エコ温度”に設定する。<br>電力関係は、前年度の関西電力から日本テクノに変更したことや社員の電力使用のコマメな努力により結果が出せた。<br>また、電力の見える化により作業者の省エネ意識が高まった。 |
| 原単位目標                  | ○    |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃) | ○    |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ・不要照明の消灯・デマンド管理の継続     | ○    |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ・ノー残業デーの実施             | ○    |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ・空気圧縮機のアエア洩れ点検         | ○    |                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| ・生産工程の効率化              | ○    |                                                                                                                                                                                                                                                                 |



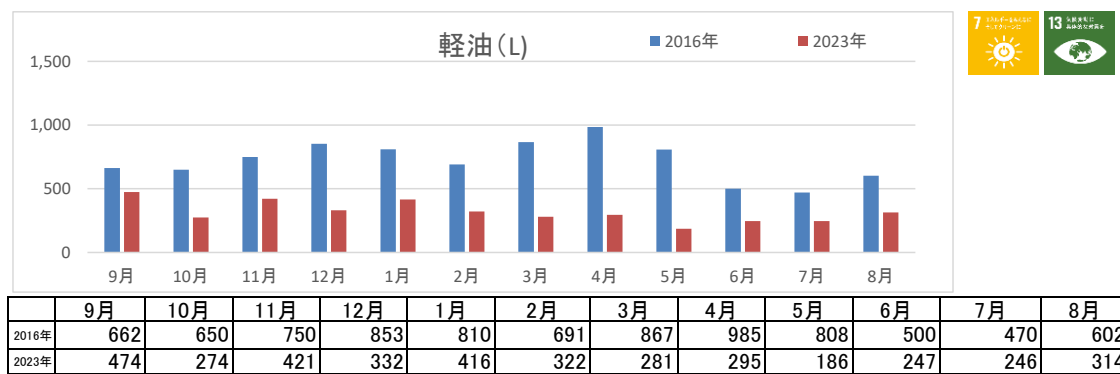
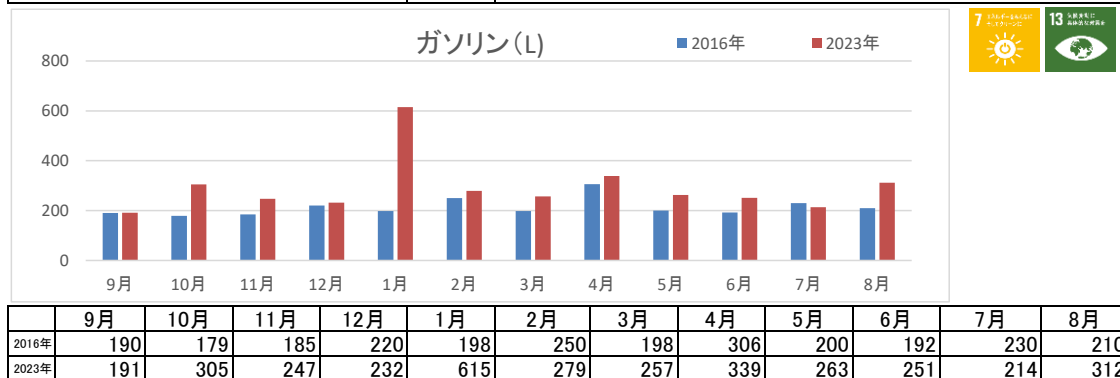
|       | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2016年 | 77,472 | 82,047 | 78,449 | 73,364 | 68,976 | 64,756 | 72,943 | 78,411 | 73,293 | 69,816 | 87,065 | 94,513 |
| 2023年 | 65,604 | 63,452 | 70,973 | 59,164 | 55,618 | 56,300 | 56,468 | 52,465 | 52,452 | 50,766 | 63,112 | 46,908 |

| 都市ガスによる二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画                                               |
|----------------|------|------------------------------------------------------------------|
| 数値目標           | ○    | ・電力同様、生産量の増減が激しく中々思うような削減が出来ていない。<br>・生産量に左右されるため、当面は現状の目標を維持する。 |
| 原単位目標          | ○    |                                                                  |
| ・温水温度管理        | ○    |                                                                  |
| ・ボイラの空気比管理     | ○    |                                                                  |
| ・蒸気配管の保温状態チェック | ○    |                                                                  |

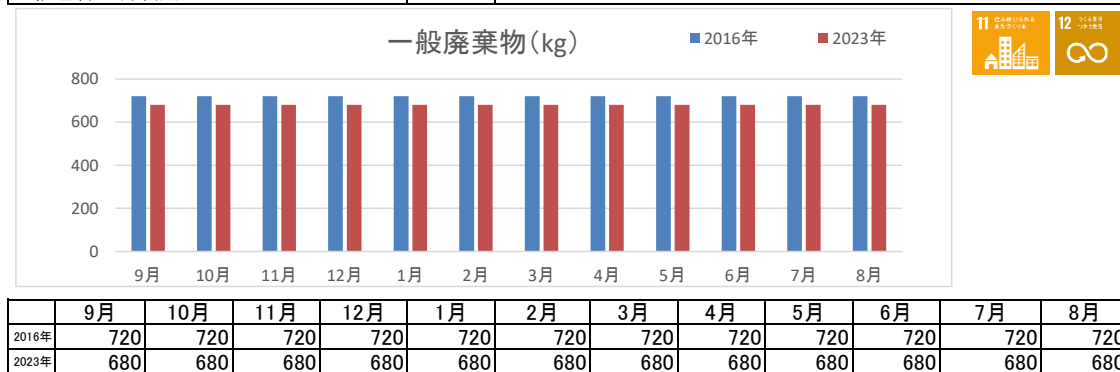


|       | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2016年 | 4,109 | 5,320 | 6,490 | 6,207 | 5,968 | 8,404 | 7,475 | 7,032 | 5,814 | 6,249 | 6,416 | 6,175 |
| 2023年 | 2,993 | 4,729 | 5,983 | 6,240 | 5,680 | 7,312 | 6,342 | 6,591 | 4,510 | 5,400 | 4,968 | 4,228 |

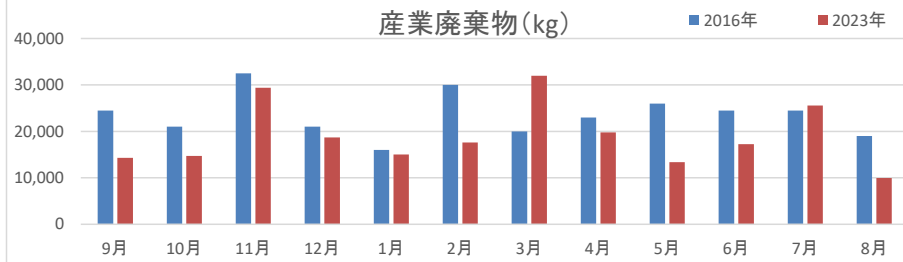
| 自動車燃料による二酸化炭素削減 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画                                   |
|-----------------|------|------------------------------------------------------|
| 数値目標            | ○    | ・エコドライブの定着で目標達成できた。次年度は、これに加えてWEB会議を行いさらに効果をあげていきたい。 |
| ・アイドリングストップ     | ○    |                                                      |
| ・効率的なルートで配送     | ○    |                                                      |
| ・エリア別営業活動の見直し   | ○    |                                                      |



| 一般廃棄物の削減         | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画                                              |
|------------------|------|-----------------------------------------------------------------|
| 数値目標             | ○    | ・電力・ガスと同じく生産量の増減が激しいが分別することにより削減の目標達成となっている。ペーパーレス化を引き続き推進していく。 |
| ・分別の徹底           | ○    |                                                                 |
| ・シュレッダー廃紙のリサイクル化 | ○    |                                                                 |
| ・帳票見直しによる印刷物の削減  | ○    |                                                                 |
| ・梱包材の再利用         | ○    |                                                                 |

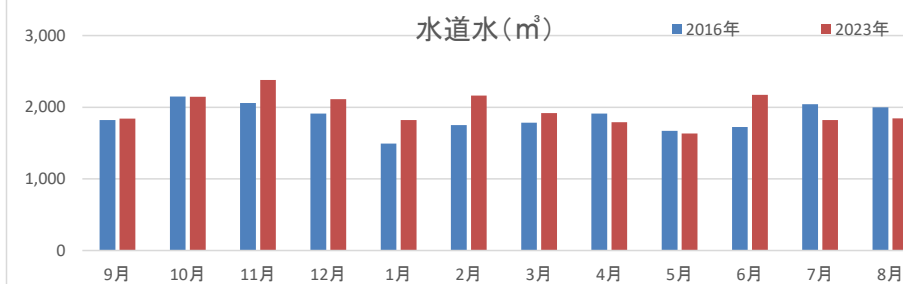


| 産業廃棄物の削減    | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画                                                                                                                                                                     |
|-------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数値目標        | ○    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電力・ガスと同じく生産量の増減に大きく影響を受ける。</li> <li>・現状は亜鉛の数値を下げる事を最重要課題としている。来期は亜鉛の数値低下とスラッジの削減が両立するように工夫していく。</li> <li>・生産量に左右される為、現状維持の目標を設定したい。</li> </ul> |
| ・スラッジ排出量の削減 | ○    |                                                                                                                                                                                        |
| ・作業の効率化     | ○    |                                                                                                                                                                                        |
| ・リサイクル率の向上  | ○    |                                                                                                                                                                                        |



|       | 9月     | 10月    | 11月    | 12月    | 1月     | 2月     | 3月     | 4月     | 5月     | 6月     | 7月     | 8月     |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 2016年 | 24,500 | 21,000 | 32,500 | 21,000 | 16,000 | 30,000 | 20,000 | 23,000 | 26,000 | 24,500 | 24,500 | 19,000 |
| 2023年 | 14,300 | 14,740 | 29,395 | 18,700 | 15,017 | 17,600 | 32,002 | 19,800 | 13,356 | 17,233 | 25,563 | 9,957  |

| 水道水の削減          | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画                                                                                                               |
|-----------------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数値目標            | ×    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の品質向上のため、洗浄での水道水の使用が欠かせず、今期削減ができなかった。</li> <li>・来期は品質は落とさず、もっと効率よく水道水を使用する。</li> </ul> |
| ・節水シールの貼り付け     | ○    |                                                                                                                                  |
| ・ポスター掲示         | ○    |                                                                                                                                  |
| ・トイレや給湯室の設備の見直し | ○    |                                                                                                                                  |
| ・節水バルブ導入        | ○    |                                                                                                                                  |



|       | 9月    | 10月   | 11月   | 12月   | 1月    | 2月    | 3月    | 4月    | 5月    | 6月    | 7月    | 8月    |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 2016年 | 1,820 | 2,149 | 2,059 | 1,913 | 1,493 | 1,750 | 1,784 | 1,910 | 1,669 | 1,725 | 2,042 | 1,999 |
| 2023年 | 1,842 | 2,147 | 2,379 | 2,113 | 1,821 | 2,161 | 1,917 | 1,791 | 1,632 | 2,173 | 1,820 | 1,846 |

| 環境に配慮した生産活動 | 達成状況 | 取組結果とその評価、次年度の取組計画                                                                                              |
|-------------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ・5S活動       | ○    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・電力の見える化により作業者の省エネ意識が高まった。</li> <li>・製造現場における環境配慮について引き続き実施する</li> </ul> |
| ・設備稼働率改善    | ○    |                                                                                                                 |
| ・不良低減活動     | ○    |                                                                                                                 |
|             |      |                                                                                                                 |

## 取 組 紹 介

デマンド管理



裏紙を利用



段ボールの再利用



封筒の再利用を徹底している



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



## 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

| 適用される法規制  | 適用される事項（施設・物質・事業活動等）                   |
|-----------|----------------------------------------|
| 廃棄物処理法    | 一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出                     |
| 下水道法      | 排水処理設備                                 |
| PRTR法     | 性状及び取扱に関する情報（SDS）の受取                   |
| 毒物及び劇物取締法 | 盗難/漏洩防止、容器、貯蔵所に表示                      |
| 労働安全衛生法   | SDS義務物質のリスク評価と教育、化学物質管理者・保護具着用管理責任者の選任 |
| 消防法（危険物）  | 消火設備の定期点検と記録の保存                        |
| フロン排出抑制法  | 点検記録の保存                                |
| 資源有効利用促進法 | パソコン等のリサイクル                            |
| 顧客要求事項    | 環境管理、品質管理                              |

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

### □外部からの環境上の苦情・要請等

外部からの環境上の苦情・要請等は、ありません。

## 緊急事態対応の試行・訓練

|          |                                                                                                                                                                          |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 緊急事態の想定： | 火災の発生                                                                                                                                                                    |
| ■実施日：    | 2023/12/5                                                                                                                                                                |
| ■参加者：    | 那須 廣昭、笠井 智行、福永 興治、タイズィギア                                                                                                                                                 |
| ■実施内容：   | <input type="checkbox"/> 通報訓練 <input checked="" type="checkbox"/> 消火訓練 <input type="checkbox"/> 避難訓練                                                                     |
| ■評価：     | 手順書の変更の必要性 <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし                                                                                            |
| ■実施状況の様子 |   |

## 代表者による全体の評価と見直し・指示



実施日：2024年12月10日

全体の評価としては、まずまずの環境経営計画にそった活動ができた。  
 2050年カーボンニュートラルに向けた挑戦を国を挙げて推進中である。  
 わが社のカーボンニュートラルの実績は、二酸化炭素総排出量において基準年（2016年）に対して、本年度までに、28%の削減ができています。  
 エコアクション21の取組を通して、CO2排出量の把握と削減対策など、他社に先駆けた活動ができています。  
 電力関係は、前年度の関西電力から日本テクノに変更したことや社員の電力使用のコマメな努力により結果が出せた。  
 また、電力の見える化により作業者の省エネ意識が高まった。  
 ただし、産業廃棄物排出量は前年度に比べ、9%増加となった。  
 今年度は引き続き、ペーパーレス化の推進、混合廃棄物の分別等、社員一丸となって強化することにより更なる削減を進めていく。

|           |                                          |                                            |
|-----------|------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 環境経営方針    | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり              |
| 環境経営目標・計画 | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり 実績を踏まえて見直すこと |
| 実施体制他     | <input checked="" type="checkbox"/> 変更なし | <input type="checkbox"/> 変更あり              |

## これまでの環境活動の紹介

---

### 出荷、輸送などにおける取組

製品などの輸送の際には、繰り返し利用できるパレットや通い箱を利用している



### □編集後記

---

環境管理体制を強化するべくデータの整理を行い資料を作成しました。  
私自身SDGsに興味があり、弊社での取り組みが数字で表れ1年を通して評価できるものでありましたので、資料作成がとても楽しかったです。  
反省点は、目標値に達成できなかった項目に関しては、次年度の目標として、社内全員で前向きに取り組んでいきたいと考えています。